

## 教育奨励賞

## 略 歴



谷山 真規子

1998年3月 高知医科大学医学部医学科卒業  
1998年4月 岡山大学循環器内科入局  
1998年9月 国立岡山病院内科研修医  
1999年9月 岡山労災病院内科研修医  
2000年9月 国立岡山病院循環器科  
2002年9月 尾道市立市民病院循環器科  
2003年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 博士課程入学  
2008年6月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 博士課程修了  
2011年4月 岡山大学病院循環器内科助教  
2017年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科岡山県南東部(玉野)  
総合診療医学講座 講師  
現在に至る

## 研究論文内容要旨

学部教育においては、医学部生への総合内科系統講義、循環器診察臨床実技入門、総合内科、循環器内科臨床実習と広域の分野で担当している。

2011年から現在に至るまで循環器内科教育企画委員、2015年から2017年には循環器内科教育医長、2019年から現在に至るまで総合内科教育医長を担当し、常に教育のアップデートに努めている。臨床医育成には、臨床トレーニング教育が必要であるため、2013年7月にマイアミ大学、2013年12月にハワイ大学でのシミュレーショントレーニングプログラム研修へ参加し、本学において研修内容を共有した。医学教育センターにおける身体診察シミュレータや心臓カテーテルシミュレータを使用し、医学生、メディカルスタッフへシミュレーション教育指導を実践した。このような活動が評価され、第1回 Best Clinical Facilitator 賞を受賞した。さらに地域医療人材育成に関しても、2017年から玉野市民病院において、早期地域医療体験実習の実習指導を担当した。コロナ禍においては、他の指導医と協力し、オンライン教育を取り入れた。このような、指導医-指導医間協力、関連部門間協力、指導医-学生協力下での教育実践もあり、担当する総合内科では令和3年度岡山大学医学部卒業生によるベストクラス(臨床系)賞を受賞した。また、国際交流学生・研修指導に関しても、マヒドン大学、チェコ、ハンガリーの大学医学生、臨床修練生の実習の受け入れを調整して指導を行った。共用試験医学系 OSCE に関しては、OSCE 委員会委員、課題責任者として OSCE の運営にも携わった。本学の JMECC 開催開始時には、日本内科学会 JMECC 指導者として携わった。卒後教育・指導医教育においても、シミュレーショントレーニングプログラム、医学教育セミナー、ワークショップ等へ参加し、卒後臨床研修指導医養成講習会の講習会世話人としても参画し、積極的に携わった。

歯学部やメディカルスタッフを含めた多職種教育に関しては、歯学部 医療支援歯学教育コースワーク講師、日本女性薬剤師会研修講座講師、岡山県消防学校講義の講師、特定行為看護師研修指導を担当した。さらに、女性医師復職支援に関しては、岡山県女性医師キャリアセンター MUSCAT プロジェクトに講師として参加した。こうした活動が評価され、2014年12月に、MUSCAT Supporter Award を受賞した。

このような多岐にわたる特筆すべき卒前・卒後および多職種・ダイバーシティを含めた広域な本学の医学教育への長きにわたる貢献がこの度、評価された。